

学生の皆さんへ

皆が知恵を絞り、寄せ合って

文学部長

影山 尚之

知恵が試されているのだろう。国政を担う人も、医療に従事する人も、こうすれば事態を打開できるという良案を見つけられずに日々腕（もが）いている。責任を任されている方々の刻苦と試行錯誤がまだしばらくは続くに違いない。それならば、わたしたちはもはや、他人のせいにして不満を託（かこ）っていてはなるまい。もとより誰が悪いわけではなく、誰も答えを知らない難問に世界が直面している。出口が見えない現状に不安を募らせるのは無理のないこと、だが、答えの用意されていない問いに向き合い、とことん考え抜いて、「わたしなり」の解答を導き出すのが文学部で培う、人文知だ。いよいよそれを発揮する時が来ているのではないのか。

君たち一人ひとりのかけがえのない未来を、夢を、一過的なできごとで諦めたり縮小したりしていいはずはない。皆が知恵を絞りあるいは寄せ合って、いまの災厄を払い除け、ついこのあいだまで君たちが歩いていた、あるべき未来への路線に一日も早く戻らないといけない。そしてそれは必ず実現する。

キャンパスから学生のさざめきが消えて4ヶ月が経つ。主役のいない大学は廢墟にも等しい。この異常な事態をいつまでも続けていたくはない。あたりまえの日常に、ふだんどおりのキャンパスに戻れるよう、わたしたちは知恵を精一杯に絞る。だから君たちも。